



砂防ボランティア通信

NPO法人 大阪府砂防ボランティア協会

☆田河勝一 新理事長の挨拶☆

このたび会員各位のご推挙により、NPO法人大阪府ボランティア協会理事長に就任いたしました。一言ご挨拶申し上げます。

当協会は阪神淡路大震災を契機に平成8年度に設立され、その後活動分野を充実するため平成15年度にNPO法人化し体制強化を図り、危険箇所点検調査、土砂災害防止に関する啓発・普及活動等に着実な実績を上げ、各方面から高い評価を受けているところであります。



これもひとえに関係機関のご指導のもと歴代理事長・役員・会員各位が気持ちを一にして事業活動に取り組まれた賜物であります。

今後の運営にあたりましては

1. 地域活動の充実

当協会は現在、正会員 80 名、賛助会員 5 名、企業会員 11 社で、正会員は大阪府関係者 48 名、市町村関係者 16 名、コンサルタント等関係者 16 名で構成されており、構成員の特性を活かすと共に体制強化を図り、大阪府土木事務所や市町村と連携し危険箇所点検調査等の地域活動を充実してまいります。

2. 啓発活動の充実

想像を絶するミャンマー・サイクロンや中国四川省・大地震災害を連日の報道で知るたび、自然災害の発生に今更ながら強い恐怖感とどうしようもない空しさを抱きます。自然災害を止めることは出来ない現状から、ハード・ソフト両面の減災対策が展開されています。大災害は別格として、まずは「備えあれば憂いなし」、「自分の身は自分で守る」ため、住民がそれぞれの立場で防災意識をいかに活かせるかにかかってまいります。当協会として土砂災害防止のための啓発・普及活動の充実に努めてまいります。

3. 情報交換の充実

会員各位が円滑かつ充実した活動を行うに当たりましては、協会として各位に最新情報の提供と情報の共有化に努める必要があり、関係機関の協力を得て会員相互の情報交換の充実に取り組んでまいります。

協会運営にはほかに多くの課題もございます。微力ですが、新役員ならびに会員各位のご協力を得て、健全かつ円滑な運営に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

☆ 安藤雅成 前理事長退任の挨拶 ☆

「恵まれていた2年間でした」

平成18年5月17日の通常総会で皆様のご推挙をいただき一期2年間に勤めさせていただきました。この間を振り返っての感想を一言で言うと「何とか凌げた2年間」でした。

就任の挨拶で申し上げました、ボランティア精神に則った活動を前提に、協会の在り方や存続の方向について各理事の協力を仰ぎ、より良い成果を目指しました。

お陰を持ちまして、年間の恒例行事（斜面地の点検調査、講習会、見学会、パトロール等）を理事はじめ会員各位の協力のもとに、無事に終える事が出来ました。皆様に厚く感謝しお礼申し上げます。又協会の組織運営に欠かせない新規会員の確保については理事のご活躍により個人会員や企業の賛助会員もほぼ満足の出来る所まで達成出来た事を深く感謝申し上げます。

また、平成19年度から大阪府の発注方式が公募型一般入札となり、入札対応の検討を重ね、幸運にも受注することが出来ました。厳しい価格の受注になりましたが、会員が一丸となって無事成果を納めることが出来、充実した会の活動運営に資することが出来ました。

このほか、現下の情勢を踏まえて、かつ将来の協会運営の在り方等を考慮して、事務局経費削減のための事務局留守番役の当番制の実施や府下各地域の活動強化のため各土木事務所単位に地域ネットワーク活動の核となる担当者を定め、地域調整委員会が所管する事としました。お陰でより充実した新体制もスタート出来ました。新役員の皆様どうぞよろしく御願います。

以上思いつくままに実績等を記してきましたが、これらもひとえに会員各位の献身的な努力の結果です。皆様には改めて深く感謝し厚く御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

☆平成20年度通常総会を開催☆

平成20年5月16日、通常総会を開催し、平成19年度事業・決算報告、役員改選、20年度事業計画・予算を審議・決定しました。

新体制は次のとおりです

理事長 田河勝一

副理事長 丸山 明 岡本冠一

理 事 大江 徹(総務) 吉田勝義(NPO法人・広報) 中田 智(財務)
上畑憲光(企画) 下清水則男(事業) 藤本光大(地域調整)

監 事 岩城正之 眞鍋英夫

20年度第1回の研修会を行いました

- ・八尾市黒谷地すべりのボランティア活動報告（藤井勇講師）
- ・土砂災害について（小林威文講師）
- ・地震時の危険度判定（松田賢二、高城俊介講師）

☆地域調整委員会の活動について☆

平成19年度から大阪府下7地域に分けブロック長を選任し、啓発活動を実施してきましたが、平成20年度は地域調整委員会を設け各ブロックの調整役として、より一層連携を図り、府・市町村等及び会員間の協力体制を充実してまいります。

1、委員会活動方針

- イ、行政と連携したPR活動
- ロ、防災パトロール、点検、防災訓練等の参加
- ハ、出前講座への積極的な参加

2、本年度の活動経過（4～8月まで）

- ・ 八尾市民の森草刈 5/24
 - ・ 土砂災害対策推進地域連絡会（豊能部会） 7/29
 - ・ 出前講座 茨木市忍頂寺小学校 7/10 阪南市桃の木小学校 7/16
和泉市リージョンセンター 8/27
 - ・ 合同パトロール 岸和田 6/17 池田 6/19 茨木 6/20 枚方 6/23 八尾 6/24
富田林 6/25 鳳 6/28
 - ・ 災害対策訓練参加 茨木北辰中学校 6/1 岸和田市 6/12
- 以上の活動に45名の会員が参加いたしました。
今後共、皆様の参加、ご協力をお願いします。



出前講座



災害避難訓練

☆ 会員からの話題 ☆

「草の根砂防」 藤井 勇（柏原市）

私の砂防ボランティアへのきっかけは、平成5年7月5日に八尾市黒谷で発生した地滑りがきっかけであります。当時八尾市水道局現職として、管理部門を担当していました。

山の中腹に有る八尾市の2/3を配水区域として受け持っている南部配水池 20,000 m³への送水管φ900、配水管φ1,000、高区配水管φ400 が埋設されている場所において、地滑り発生2年前に石垣に亀裂が発生している通報がありました。万一地滑りが発生すれば八尾市の給水体制に大きく影響を及ぼし、直下の集落に二次災害が発生する事から、職務上とは言え「藤井さん、山は動きまへんやろー」と言われながら2年間監視を続けました。

地滑り発生前に災害想定から復旧体制まで整えていたので地滑り発生と同時に対策を講じることが出来、幸いにも全ての面において大事に至りませんでした。

これを体験した事がきっかけで「地滑りの恐ろしさ、防止の大切さ」を知り、平成9年6月大阪千里万博ホールで開催された防災全国大会に参加し、砂防ボランティア全国協議会発足と



同時に斜面判定士として活動を始めることになりました。

当初5年間は大阪府砂防ボランティアの存在を知らず個人活動として自称「草の根砂防」と位置づけ、中河内ブロックの東大阪市、八尾市、柏原市の山間部をくまなく走り、指定区域と指定区域以外でもこれに匹敵する約250箇所の危険箇所マップを作り、写真記録を行い、その後時間が有ればパトロールを続け今年で11年を経過いたしました。砂防パトロールはどんな小さな異変も「草の根」を分けながら常にチェックし監視を続けることが大切であります。



「砂防ボランティアに参加して」 福嶋 浩（泉佐野市）

19年度、新規入会した福嶋 浩です。

私は、かつて砂防事業より河川関連事業に多く関わってきたことから、退職後は河川ボランティアで活動していました。私が所属する管内には、砂防、急傾斜のベテランもおられ、親交が進む内に当会への参加を勧められました。

丁度時間的な余裕もできた時期だったので、軽い気持ちで入会しましたが、知識と経験の乏しいのが少し心配でもありました。暫くして「19年度斜面地調査」に補助、研修を兼ねて参加する様にとの連絡があり、資料が送付されてきました。補助とはいえ、初めて砂防ボランティア会員としての実務を経験する事となりました。

調査当日は、現地調査に併せて啓発活動も含まれており、砂防に関してもっと勉強と経験が必要だなあと感じた次第です。でも今は少し余裕をもって現地研修や講習会、避難訓練、府市合同の危険箇所点検等に参加しています。

会員はみなユーモアたっぷりのユニークで個性豊かな人が多く、楽しく活動させて頂いています。また、地元の方々とあまり肩肘張らずに話しの出来るのも良い所だと思います。

貴方も、時間的な余裕があれば是非入会されてみてはいかがでしょうか。 感謝

特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会

〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-6-2 TNJ大阪ビル6F

TEL/FAX 06-6208-1919

E-mail osakasabovo@tea.ocn.ne.jp

<http://www18.ocn.ne.jp/~o-sabo/>

砂防ボランティア募集中

当協会の活動に賛同され、熱意を持って行動できる方で、年齢、性別、経験（砂防に関する知識等）は問いません。

●●●●●●●●●●当協会を支援いただいている企業〔賛助会員〕●●●●●●●●●●

(株)浅沼組、(株)ウエスコ、(株)エヌイーエス、応用地質(株)、(株)奥村組、

(株)修成建設コンサルタント、(株)竹中土木、日本工営(株)、

日本国土開発(株)、(株)ニュージェック

(7位エ利順)

(株)浪速技研コンサルタント（平成20年度入会）